

規格・認証を活用した加工食品の輸出環境整備事業

【令和5年度予算概算決定額 39（40）百万円】

＜対策のポイント＞

加工食品に係る日本発の規格・認証を活用した輸出を拡大するため国際標準化の環境整備を支援します。
また、中小事業者等が国際標準の食品安全マネジメントシステムへステップアップする取組を支援します。

＜事業目標＞

農林水産物・食品の輸出額の拡大（2兆円〔2025年まで〕、5兆円〔2030年まで〕）

＜事業の内容＞

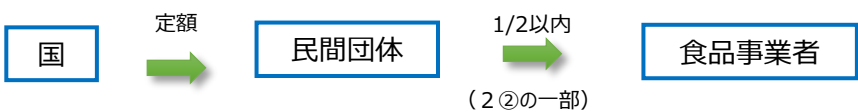
1. JFS規格の国際標準化支援

- ①輸出先として有望な東アジア・東南アジア地域をターゲットに、JFS規格の認知度を向上させるため、食品事業者等に対するセミナー・商談会の開催、現地のJFS規格のニーズ調査、認証取得環境に係る調査等を支援します。
- ②JFS規格のステータス向上を図るため、GFSI（世界食品安全イニシアティブ）等が主催する食品安全マネジメントに係る国際会議での情報収集やGFSI承認に必要な新規要求事項に対応するための取組を支援します。

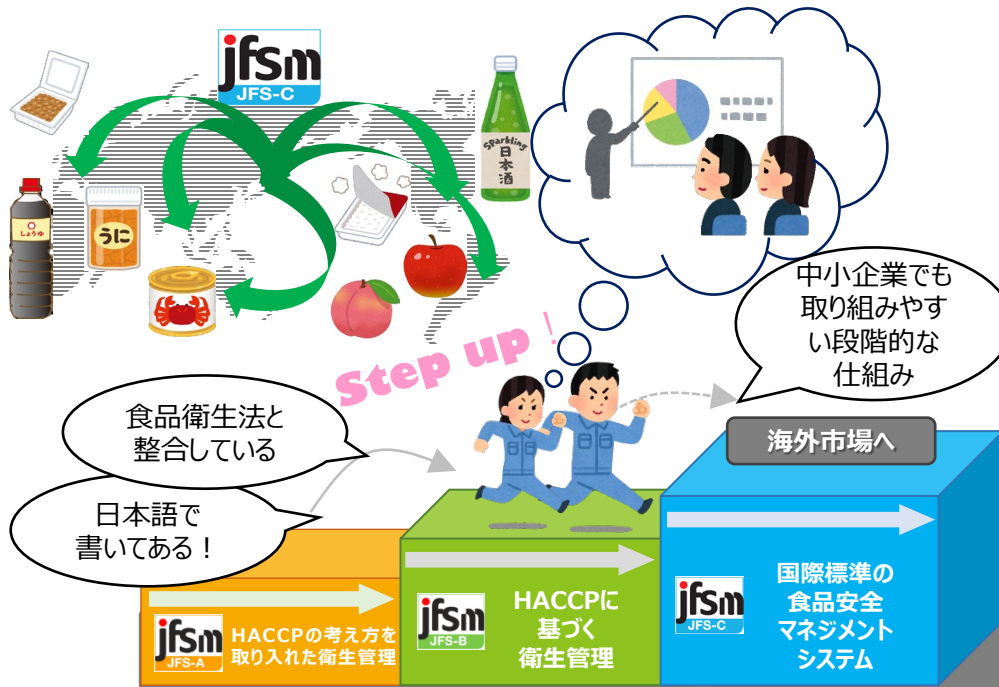
2. JFS規格の認証取得拡大支援

- ①輸出潜在力を有する中小事業者のJFS規格認証を取得する基盤作りとして、食品安全マネジメントに関する知識等を定着させるために必要となる人材を育成するための研修等の実施を支援します。
- ②食品事業者のJFS規格の認証取得拡大のため、JFS-C規格へのステップアップ等のモデル的認証取得を支援します。また、得られた取得ノウハウ等を発信し、横展開を図る取組を支援します。

＜事業の流れ＞



＜事業イメージ＞



＜事業効果＞

- 食品安全の取組向上
- 日本の食・食文化の海外発信・輸出促進